

2023 年度
マンスリーレポート No.97

4月3日、教育評価委員会が新医学部三役に「教員の教育活動と能力開発に関する方針(案)」と「教育スタッフ研修会の指針(案)」を提出した。新学期のオリエンテーションが学年別に行われ、進級時アンケートを実施した。

4月4日、新入生オリエンテーションで、安達が「大学での勉強」、山田が「大学での生活」、柏木が「Hondana 説明会」を担当した。

4月5日、片山が臨床研修医オリエンテーションのシミュレータ使用を支援した。

4月7日、安達/柏木/山田/片山が第1学年の「医療概説」を1コマずつ担当した。

4月8日(土)、教務委員会三部会主催「医学生の学修を支援する教育ワークショップ：協同とコーチングの視点から」(講師は安永 悟教授&安川秀雄教授)が開催された。

4月10日、臨床実習前演習(PCCE)の専門職連携教育(IPE)として医看合同授業が行われ(山田と看護学科古村教授が担当)、第4学年の医学生/看護学生がグループワーク(238人/36班)と発表会を行った(筑水会館/教育1号館/看護学科棟)。教務委員会が開催され、安達がFD部会の設置と卒試勉強会の実施を提案した。

4月12日、教授会議が開催され、教育評価委員会が医学部三役に提案した「教員の教育活動と能力開発に関する方針」と「教育スタッフ研修会の指針」が審議され承認された。片山が医療検査学科案内用の写真撮影(エコー・シミュレータ)に対応した

4月13日、安達が原看護専門学校の非常勤講師として授業を行った(9/9まで全21回)。

4月14日、片山が日本放射線技術学会の専門部会講座(画像部会)入門編「XR(VR/AR/MR)と3Dプリントへつなげる3次元画像処理：次世代技術への知識応用と実践テクニック」を講演した(横浜市)。出席管理システムの不具合について報告があり、科目責任者が出席の確認と報告を行うことになった(4/17から出席管理システム対応可能まで)。

4月17日、柏木/山田/片山がトレセンで第1学年の医学入門実習(4/24~6/5)技能訓練「心肺蘇生」(循環器内科)の事前学習用動画を撮影した。

4月22日(土)、安達が卒試勉強会(隔週土曜8/26まで)を行い、第6学年留年生18人中13人が参加した。山田が「現場で働く指導医のための医学教育学プログラム：基礎編」(名古屋大学FCME)で講師を担当した(名古屋)

4月23日(日)、山田が第31回日本医学会総会U40委員会企画「この社会で何を考える医学生たち」で学生グループのチューターを担当した(東京)。

4月24日、安達/山田/片山が医学入門実習の技能訓練を担当した(毎週月曜6/5まで)。

4月28日、働き方改革の一環として導入される勤怠管理システム(KUOS)のトライアルに参加するため、柏木が感染制御学講座と当センターの教職員に使い方を説明した。片山が新人看護師研修会のシミュレータ使用を支援した。

4月29日(土)、山田が「疼痛研究の最先端シンポジウム」(兵庫医科大学疼痛メカニズム研究講座)に参加した(大阪)。

* クリニカルスキル・トレーニングセンターの利用状況 下線は土日祝日

- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：Dry Box 縫合体験(肝胆膵外科) 4/4
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：外科縫合トレーニング(呼吸器外科) 4/6、4/20
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：VR 気管支鏡体験(呼吸器内科) 4/10、4/24
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：胸腔ドレナージ・超音波検査体験(呼吸器外科) 4/11、4/18
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：シナリオシミュレーション演習(整形外科) 4/19
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：硬性鏡検査体験(呼吸器外科) 4/20
- ・ 臨床実習(医学科5年/6年)：ダヴィンチ体験(呼吸器外科) 4/11、4/18
- ・ 医学入門実習(医学科1年)：心肺蘇生・バイタル・腹部診察/エコー 4/24
- ・ 新採用研修医オリエンテーション(臨床研修センター) 4/5
- ・ CV カテ挿入トレーニング(集学医師) 4/6
- ・ CV カテ挿入トレーニング(研修医) 4/7
- ・ 医学入門実習用の動画撮影(医学入門実習部会)
- ・ 筋肉注射演習(病棟看護師) 4/7、4/10、4/11、4/18、4/19、4/20、4/26
- ・ 静脈採血演習(外来看護師) 4/7
- ・ 静脈採血演習(病棟看護師) 4/10、4/11、4/18、4/19、4/20、4/26
- ・ 導尿演習(外来看護師) 4/7
- ・ 導尿演習(病棟看護師) 4/10、4/11、4/18、4/19、4/20、4/25、4/26
- ・ 新人看護師研修会：静脈血管確保(看護部) 4/28

文責：安達洋祐